

JMAT における 「避難所などにおけるトリアージカード」 について

避難所などでの回診、見回りで、医師が主観的ではあるがその時点での判断をカードにして患者に渡しておく。カードを患者に渡しておくことで、今後の治療に結びつけるとともに、引き継ぎにも利用する。患者側も、カードを頻繁に周囲に示すことでより早く治療に結びつけられるようにする。

記入欄は、記入できる部分について、簡単明瞭に記入したうえで、記入医師がサインする。

1. 赤カード…すぐに治療にかからなければならない患者

もちろんすぐに連れ出し治療できれば best

糖尿病、高血圧、虚血性心疾患、喘息治療中で中断しているもの、特に“round the clock”の薬は要注意〔特にインスリン治療、狭心症薬（抗凝固療法、冠拡張薬）ぜんそく薬、疼痛緩和薬など〕また、免疫抑制剤、副腎ステロイド内服治療者

2. 黄カード…すぐにではないが数日のうちには投薬などの治療が必要

高脂血症、妊産婦、乳児など

3. 白カード…すぐに治療をしなければならないわけではないが、医療的な問題点ありで、もう一回フォローが必要なもの

PTSD など精神的な問題を抱えている避難者